

## 令和5年度 第12回美里地域会議 会議録

日時：令和6年3月14日（木曜日）午後7時から午後8時まで

場所：美里交流館 多目的ホール

出席者：〈地域会議委員〉青木 徹、大坪 道助、岡田 宏之、岡本 渉、笠松 保希、  
小林 忠雄、柴田 勝正、代田 正晴、千葉 善郎、  
豊田 博久、中島 康口、成田 恵美子、細川 章一、  
松村 洋、望月 英光、山本 由和  
(欠席) 山田 正見

〈高橋支所〉前田支所長、出口副支所長、口野担当長、川瀬主査

### ≪内容≫

#### 1 豊田市民の誓いの唱和

#### 2 会長あいさつ

#### 3 今後の美里地域会議への要望等について

##### (1) 令和4、5年度美里地域会議の活動実績（情報提供）

事務局作成の資料をもとに、令和4、5年度の活動の振り返りを行った。

##### (2) 意見発表

委員として活動した感想や、今後の地域会議への要望などを一人ずつ発表した。

##### 【主な意見】

##### ア 諮問答申、提言に関する意見

- ・防災万年カレンダーや安否確認用タオルを地域会議で作っていた時と比べると、成果物が手元に残るわけではないので、成果が分かりにくい。
- ・諮問答申や提言はテーマが大きすぎて、手ごたえがつかみにくい。
- ・議題が難しい。特に、第9次豊田市総合計画に関する諮問答申は難しかった。
- ・諮問答申と提言を、同じタイミングで進めたい。
- ・諮問答申と提言の内容を合わせて進められるとよい。諮問答申で市が「ありがたい姿」を示し、それに対して地域からも「どうあるべきか」提言できるとよい。
- ・当地区と同じ課題をもち、すでに解決に取り組んで成果を出している他の地区があるはず。提言の際には、その情報をうまく収集して、当地区に生かしていけると良い。
- ・答申や提言した内容が、今後、どのように市の施策に反映されるのか知りたい。
- ・山村条例に関する諮問に答えたが、第9次豊田市総合計画では山村の話が出てこず、意見が生かされていない印象をもった。地域会議が答申した内容を市で検討し、その結果と進捗状況を地域会議へ報告してほしい。
- ・提言した「地域住民の交流」について、交流の場として公園を活用する事業が今後確実に進められることを望む。
- ・地域会議が提言した課題の解決のために、実際に動くのは、自治区や地域住民となる。すでに地区区長会では、活動計画に組み込んで活動を始めている。地域でできることは地域で、地域だけでは難しい部分を市にお願いし、協力して進めていきたい。

## イ 委員の活動内容、次年度の進め方等に関する意見

- ・山村条例に関する諮問への答申のために、山村ツアー、交流会に参加できたことは非常に良かった。特に、小原地域会議との意見交換が良かった。他の地区がどんなことを考えているのか、私たちの方向性が間違っていないか知ることができる。次年度以降も年に一度は、他の地域会議との意見交換の場を設けてほしい。
- ・以前はわくわく事業の活動訪問があり、地域の活動を直接見ることができたが、今はその機会がない。他の地域会議の状況を見るのもよいが、まずは、美里地区の各自治区の活動状況を、委員が直接見に行く機会があっても良いのでは。
- ・地域会議での活動が、自治区の役員会などで情報提供されるようにしてほしい。
- ・自治区の集まりで地域会議の活動を報告できる機会がほしい。
- ・過去に地域会議委員に就任していた頃は、自分の自治区の役員会に出席し、地域会議の動きを情報提供していたが、今期は参加していなかった。今後はまた役員会に出席し、情報を展開していきたい。
- ・4年前に地区区長会長として地域会議に参加することになった。各自治区に地域会議の活動に協力してもらえよう、時間があれば、各自治区の事務所へ行き、活動状況を案内したり、区長の話を知りたがっていた。委員の役割が変わったが、やはり委員が動くことが必要だと思う。

## 活動の感想、今後の抱負

- ・進め方が分からない中で、みんなで意見を出し合って進められて良かった。
- ・地域会議委員退任後も、市の広報やホームページを見て、答申や提言をした後の市の対応を確認していきたい。
- ・知識がなくて、会議で発言ができなかったことを反省している。聞き役で終わってしまった。
- ・会議では、自分の自治区の話で良いので、気楽に発言してほしい。
- ・思ったことをざっくばらんに言える会議の雰囲気になると良い。
- ・他の自治区から選出されている委員の皆さんの話を聞いたのが良かった。
- ・自分の自治区の状況だけでなく、美里地区全体の状況を知ることができたのが良かった。
- ・地域会議に出席したことで、地域の課題がたくさんあることを知った。
- ・第9次豊田市総合計画に関する諮問への答申、美里地域会議からの提言に共通して言えることは、「ふれあい」や「交流」が大切だということ。
- ・発災時の被害を減らすには、日頃のコミュニケーションが重要である。地域の課題を解決する第一歩として、「あいさつ」を大切にしていきたい。
- ・近年、近隣とのふれあいが減っており、当地域会議から市へ提言した「地域住民の交流」は、非常に重要な意味をもつ。次年度以降、地域会議委員として、地域住民の交流の場を広げられるよう取り組んでいきたい。
- ・仕事の都合で会議を欠席してしまうことがある。次年度は出席できるようにしたい。
- ・次年度も委員を継続する予定なので、積極的に活動していきたい。

#### 4 退任者へのお礼状交付

退任する委員への豊田市長からのお礼状を、前田支所長が代読し、交付した。

#### 5 事務連絡

(1) 次回の開催について

【令和6年度 第1回美里地域会議】

- ・日 時 令和6年4月11日(木) 午後7時～
- ・場 所 美里交流館 多目的ホール

※令和6年5月以降の地域会議の日程は、次期委員の意見を踏まえて決定する。

(2) (仮称)第9次豊田市総合計画中間報告会の案内について

令和6年6月中旬に開催予定の「(仮称)第9次豊田市総合計画中間報告会」について情報提供した。

(3) 不要な資料の回収について

不要な過去の会議資料がある場合は、事務局で処分することを情報提供した。